



人懐こい少年達

イランはシルクロードの要所、東西交易の中心に位置し、古くから血が混じり合っています。遊牧民ゆえに

奇跡の国、イランを旅して…
減り去った古代ペルシア陶器の至宝と呼ばれるラスター彩の復元。その技法をラスター彩の故郷イランに里帰りさせようという情熱を注いでいる陶芸家の加藤幸兵衛先生一行に便乗し、この4月にイランへ行って来ました。

現地に到着するまで中東はどこも危険な国との印象を抱いておりました。しかし実際に、その地を踏み人々と接してみるとイランは中東でも特別で、大政治家が良く安全な国でした。また、政治的な危険も少なく人々も礼儀正しく謙虚で心温かい方々ばかりであったのは驚かされました。女性の夜の一人歩きも問題ありません。そして、大の親日国です。以前、このせんとらるライナーで「財布を落としても戻ってくる様な国は、我が国以外にない。この様な善心が通じる唯一の国ゆえ、性善説が通じる会社づくりをしたい」と記したことがありますが、しかし、日本が唯一ではありませんでした。



礼儀正しく謙虚で心優しい女学生と

念を持つようです。加えて、長い歴史を有するペルシア人の誇りがこの信仰と矜持が礎石となっており、この様な国柄が創りに違いないと

定住はしません。アレキサンダーやモンゴル帝国、オスマン朝、オスなども攻め入れられ、様々な王朝が興亡を繰り返して来た国です。そうした環境下において、何故この様な国が存在するのか不思議でなりません。奇跡としか言いようがありません。



2500年前の宮殿ペルセポリス（世界遺産）

何れにしろ、中東の国々を十把一絡げに捉えていた自分の勉強不足を恥じずにはいられません。遠く国ではありませぬが、みなさんも是非イランをお訪ね下さい。紀元前に栄華を極めたアケメネス朝ペルシアの宮殿「ペルセポリス」や究極の美と格式を誇るエスファハンの「イマーム広場」など等、圧倒的な観光資源も溢れています。一度訪れれば、奇跡の国イランの大きなファンになること間違いありません。

阿部 伸一郎

■ イラン豆知識 ■

●ペルシアはイランの古名です。イランはペルシア人、アリアン、他の中東の国々の多くはアラブ人と人種が異なります。イランもアラブ諸国と同じイスラム教徒ですが、イランのみシーア派が大多数を占めます。

●イランとイラク。イランはサンスクリット語の「アリアン」の国、という意味から来ており、「川と川の間」という意味です。英語や日本語表記では「イラン」という関係ありません。ただ、たまたまです。



エスファハンのイマーム広場（世界遺産）

住まいるバザール 2017

ご来場
ありがとうございました！！

4月22日・23日に開催致しました建設と介護の複合イベント「住まいるバザール2017」に、700名を超えるお客様にご来場頂きましたこと感謝申し上げます。

今年、新たに「美容と癒しの要素を取り入れた福祉用具の展示、即売会」「建築の専門家が選んだ水廻り商品セットの特別価格販売」「展示した砕石など土木資材の当日配送」など等に取り組みしました。お陰様で、介護に建築、土木の多方面からの切り口を有する弊社ならではの企画と、大変な好評を頂戴することが出来ました。

そして、更に自然栽培への取り組みもスタートしております。来年からは一層工夫を凝らし、これまでの建設と介護に農業を加えた複合イベントへと進化させて行きたいと考えています。



順調に成長しています



前号でお伝えした新規事業「じねんじょ栽培」の経過報告です。先ず、はじめに栽培方法ですが、弊社のじねんじょはパートナーである「中山道水戸屋」さんの指導を仰ぎ、植え付け後の化学農薬・化学肥料を使用しないことに決定しました。そして、その方針のもと4月末に由来の異なる4種類の種芋を植えたところ、二週間後には早くも蔓が出て来ました。成長は順調の様です。



むかご畑

そこに4種類、合計2200本栽培しました。早速、弊社がじねんじょ栽培を始めたことを知った方々から「うちの休耕地を活用出来ないか」とのご相談を頂戴しております。建設技術を農業に活用することで品質と生産性を向上させ、農地管理に頭を悩ませている方々のお役に立てよう研究を続けて行く所存であります。

スタートしたばかりの事業ですが、既に来年の栽培量を決め、その為の優良な種用イモの育成に取り組みしました。当然ながら、まだ収穫ゼロの事業です。「とらぬ狸の算用金」とならぬよう、一歩一歩進んでゆこうと考えております。



蔓が出てきました！

企業理念

社は

企業は人なり

人は姿勢なり

姿勢は心なり

社訓

一、人・姿勢・心の基本は
挨拶にあると知れ

一、礼儀を正し、
前向きで素直なれ

一、信用を第一とし、
知恵と工夫と努力で
利益を追求せよ

綱領

我々、セントラルグループ全社員は、
企業理念の根幹たる
人・姿勢・心を研ぎ、
社業の繁栄を築き、
地域の安全で快適な生活基盤を
創造する担い手として、
社会に貢献することを使命とする。

企業理念の意味するところ

わが社の思想、進むべき方向性。
そして、当社において「正しい考え方」とは何であるのか。
それらを簡潔に要約したのが、右の企業理念です。我々セントラルグループ全社員は、この企業理念に価値観を共有し結束し、地域の安全で快適な生活基盤を創造する担い手となるべく進化を続けて行く所存です。



泉鏡花



は彼を連れ戻そうと後を追ったが、大蛇や蛭が巢窟の森が結く、凄まじい道だった。結局、薬売りに追いつけなかった。蛭に吸われ、切った僧は一軒家に辿り着いた。そこは口まげの奇妙な子供と上品な美女が住み、一頭の馬がいた。美女は汗を落とせと僧を溪谷に案内すると女も服を脱いで僧の背中を流した。帰りに道はつづく。獣が泣き吠え不気味な夜が明け僧は出立した。しかし、女のこと忘れられず、全てを捨て戻

ろうとした矢先、馬を売りさばいて来た男に出会い女の秘密を聞かされた。その女は人間ではなく肉関係をもった男を動物に変えてしまう妖怪だった。馬は薬売りの男だった。独特の文体ゆえ難しくもあるが読み応えがある。スリルがあり冷たい水を頭からかぶった様な、ぶるっとした感覚に陥る。鏡花文学は、スラスタと読むのではなく、繊細な表現をゆっくり味わいながら読むのが良い。精神のサプリメント、そんな一冊だ。

岐阜県立坂下高等学校 校外研修実施

去る5月26日(金)、今年も中津川市の県立坂下高等学校福祉課2年生の生徒さん20名が、校外研修として本校にお越し下さいました。教育関係の方や同じ年頃のお子さんをお持ちの親御さん、医療や福祉の専門分野に携わっている方以外で存知の方はいないかもしれませんが、実は坂下高等学校は、介護福祉士、国家資格である「介護福祉士」

今回の校外研修は、そのような未来ある生徒さん達に、医療や介護、福祉の現場で必要不可欠な福祉用具に触れて体験させたいという学校の思いと、地元密着・地域貢献・人材育成を理念とした福祉の考えがマッチしたことで成されたものです。研修では、在宅介護サービスに関する講義と介護ベッドを使った介助方法を始め、車いすの扱い方、電動カートの体験などがあり頂きました。短い時間ではありましたが現場に関わっているからこそ伝えられる留意点やテクニクを楽しみながら学んで頂くことができました。また、弊社で研修して頂いた生徒さん達の卒業後の活躍を期待しています。



唯一、東濃、飛騨学区で、国家資格である「介護福祉士」



寿司一家の林家。恵那市長島町久須見は、名古屋を営む林さん(金寿司)「本店」の三男に生まれました。現在、本店は長兄が継ぎ父と二人で営む。次兄は中川区で末弟も春日井市でそれぞれ寿司店を営む。金寿司の文字通り、寿司一家だ。そんな環境に育った林さんは、20代の時にアメリカで寿司を握ってみたいと思うようになりサンディエゴに



金寿司のコンセプトは「誰でも気軽に立ち寄れるお店」。そんな林さんの姿勢が地元の方々に支持され常連客で賑わう。今後は、素晴らしい恵那の食文化を継承し、若手料理人を育てることに尽力したいと、語る。

住所 恵那市長島町久須見 1085-9
TEL 0573-25-7212
定休日 水曜日
営業時間 11:00〜14:00 / 17:00〜21:30

せんとらライナー待合室

常時10分前行動を心掛けるA男は会社で「ミスター10分前」と呼ばれていた。もちろん会社が始まる8:30の10分前には出社している。

A男の最寄り駅はちょうど20分間隔で1時間に3本しか電車が出していない。A男はいつも8:00ちょうど電車で会社に向かっている。会社の最寄り駅に着くのは8:10である。そこから会社まで歩いて10分なのでちょうど8:20に会社に着く。ある日のこと、A男が自宅の最寄り駅に行くとき人身事故により電車が15分遅れとなっていた。それでもA男は会社に遅刻することなく出社することができた。途中で走ったりすることなく、いつもと同じペースで歩いたにも関わらずである。山手線のように線路が周回して反対回りの電車に乗って行ったわけではない。その日に限って家を早く出ていたわけでもないし、車で通勤したわけでもない。なぜだろうか？

ミスター10分前

「ミスター10分前」と呼ばれていた。もちろん会社が始まる8:30の10分前には出社している。

【51号のこたえ】

「両方」と書いてある紙が貼られた箱を確認した。

全ての紙が貼られていたということは、3箱とも中身が一致していない状態といえる。「両方」と書かれた箱には白球のみかオレンジ球のみしか入っていないことになる。1球だけ取り出せば箱に入っている残りの球は全て同じ色なので簡単に確認できる。例えば白球が入っていた場合、残っている「オレンジ球」と書かれた箱がオレンジ球のみと白球のみである可能性は無いということがわかる。つまり両方入っている。そうすると残りの「白球」と書かれた箱がオレンジ球のみということもわかる。これが「白球」や「オレンジ球」と書かれた箱の場合、1球見ただけでは箱の中身を確定することはできない。

せんとらライナーで旅する恵那 vol.4 寿老の滝 (三郷町・山岡町)

三郷町と山岡町の境界に位置する、寿老の滝。この滝は、単なる滝ではなく遠い昔から地元の人々の精神的な拠りどころであった。明和2年(1765年)との年号が刻まれた石造りの観音像も祀られていた。このことからその意味が分かり取れよう。毎年、両町の観光協会が中心になって滝開きの神事が執り行われるとシーズンインだ。うだる様な暑さの日も、ここは、ひんやりとした神秘的な空気に包まれている。滝からほんの数メートル下れば、生い茂る緑の木々に囲まれた砂浜が続く。BBQを楽しむには絶好のエリアだ。また、近くには二か所自然の湧水を汲み取れる場所があり、この水を目当てに立ち寄る人も少なくない。



絶好のBBQ空間